

# 平成23年度「図書館情報センター利用実態調査」集計結果報告

図書館情報センターでは、利用実態を調査するためのアンケート調査を実施した。なお、設問は全部で7問であったが、紙幅の都合により、抜粋して掲載した。

## ① 調査目的

図書館情報センターでは、設備の改善、より質の高いサービスを提供するために、利用実態を調査するとともに、図書館の満足度について回答いただき、利用者のニーズを把握することを目的として、アンケート調査を実施した。本報告書はその集計結果の分析をまとめたものである。

## ② 調査期間

平成23年10月17日(月)～10月28日(金)

## ③ 調査対象

本学の学生・大学院生。(ただし歯学部・薬学部2年生以上は調査対象から除く)。

## ④ 調査方法

図書館入口付近にて、入館者にアンケート用紙を配布。館内設置の回答箱にて回収。

## ⑤ 総回答数

511名。ただし歯・薬学部18名、大学院生回答者9名は別集計とする。

## 調査結果

### ① 回答者のプロフィールについて

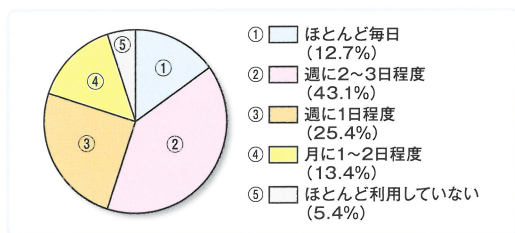
回答者に占める比率は、文学部が1番多く(39.9%)、心身科学部、法学部がほぼ同数(19%)で続いている。なお、質問は学科単位で行ったが、集計報告書は学部単位とした。

学年別は1年生が32.3%、次に3年生の28.4%、男女比は男性が52.3%、女性が42.7%であった。文学部は男女とも全学年に渡って利用者が多く、法学部は、男性が全学年に渡って利用者が多い。

### ② 図書館の利用頻度について

全回答者の43.1%に上る学生が「週2～3日」と答え、次に「週1日程度」の25.4%と続いている。

その数字に「ほとんど毎日」の12.7%を加えると8割強が、「週1回以上」図書館を利用していることがわかる。



利用頻度 全体 (N.A除く) 注:N.AはNo answer

### ③ 図書館を利用しない理由について(複数回答)

「インターネット情報で充分である」が一番多く(75.9%)、ついで「時間が無い」(61.8%)「自分で購入する」(44.8%)が続いている。この傾向が全ての学部・学科に共通している。その他の理由は、「読書習慣が無い」が挙げられた。

「インターネット情報で充分である」が8割近くを占めた要因は、携帯端末などで「どこでも、いつでも」容易に情報が入手できるからと考えられる。「図書館を利用する時間が無い」は、忙しい学生生活を反映していると言える。また、一部の学部・研究所などの資料が充実していることも要因の一つと考えられる。

